

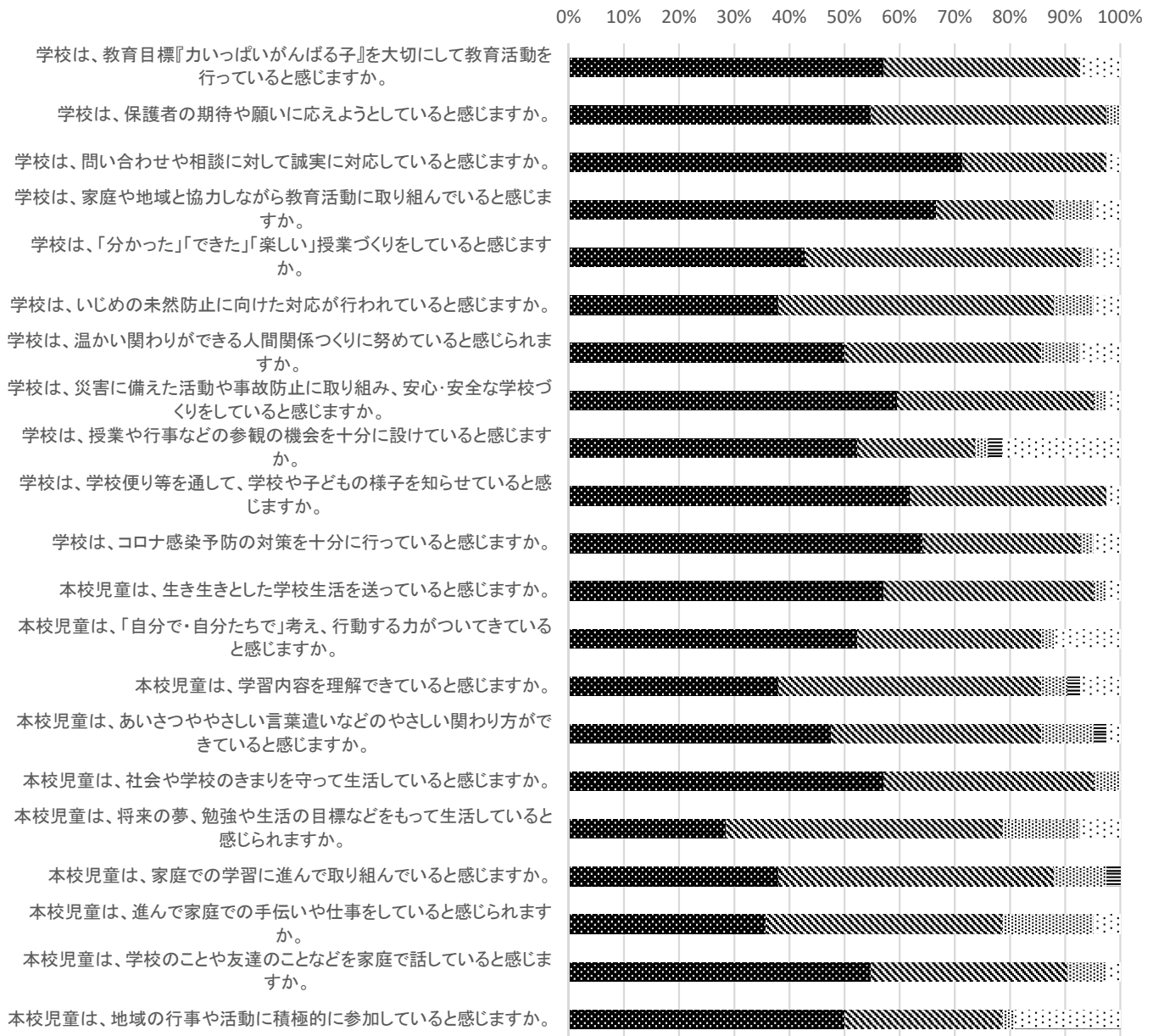
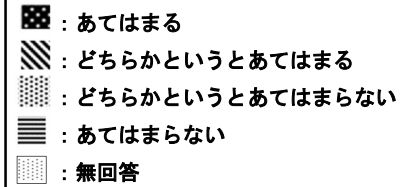
いちちょうの木



郡上市立大和西小学校
西っ子だより 特別号
R2. 10. 15

学校評価アンケートの集計結果

保護者アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。授業参観等が中止になる中で、アンケートに回答することは、難しかったと思われま。そんな中でも、丁寧にご記入いただき、感謝いたします。下のグラフは、「保護者」のアンケート結果です。

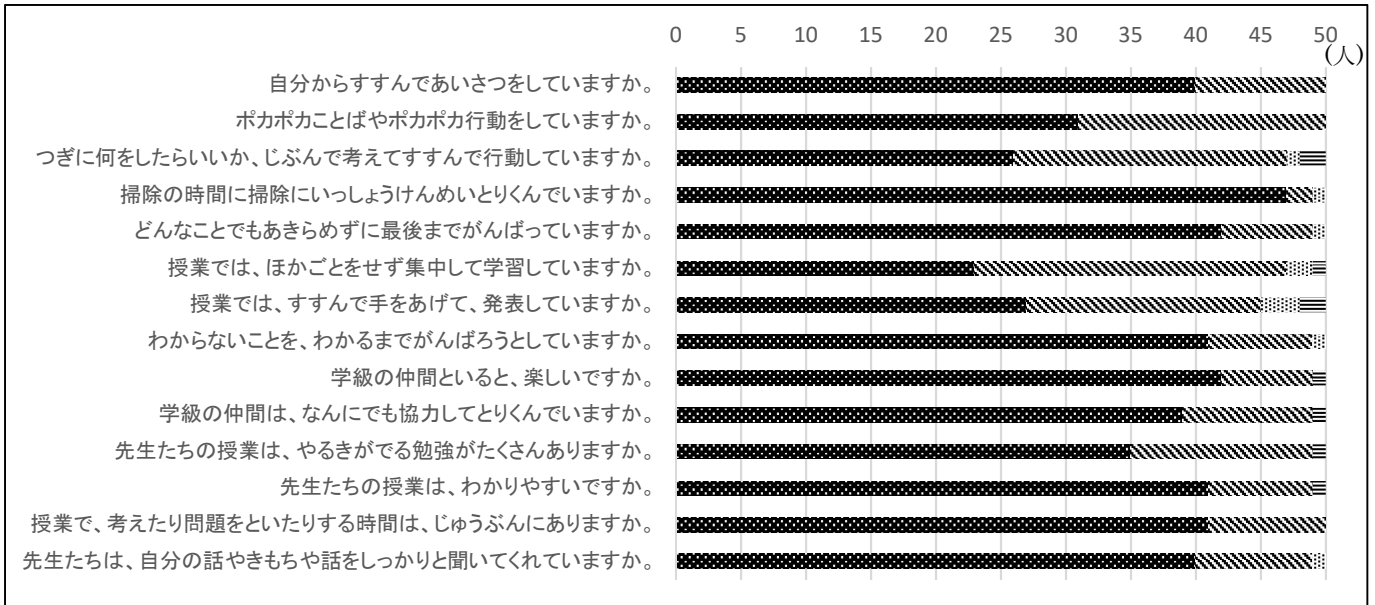
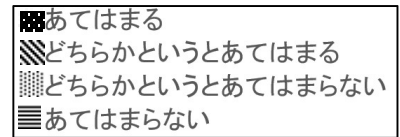


「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の評価を合計すると、おおむねどの項目も80%を上回っています。学校教育目標「力いっぱいがんばる子」の具現に向けた学校教育に、多くの方により評価をいただけていることが伺えます。一方、昨年度の続き「いじめの未然防止」については、まだ十分な指導が行き届いていないと感じられていることが伺え、取り組みの改善を実行します。「分かった」「できた」「楽しい」の項目についても、他の項目と比べると、まだまだ改善をしなければならぬと感じます。コロナ禍で、学校外の施設や自然環境に出向いての活動がなくなっている影響も考えられますが、4・5月の臨時休校の遅れを

とり戻さなければと進度を慌てすぎることがないように、丁寧な指導を行っていく必要を感じました。

また、「家庭での手伝いや仕事」については、昨年の12月の調査と比べると、大幅に改善されています。ご家庭で、家族の一員として子どもに責任をもたせて手伝いに取り組みさせていただいていることが、ありがたいです。「将来の夢や勉強に目標をもって取り組む」の項目については、改善が僅かであることから、今後も引き続き粘り強く指導を行っていく必要があると考えます。

下のグラフは、「児童」のアンケート結果です。



児童の評価では、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の評価を合わせると、全ての項目で、ほぼ90%を超えています。子どもが、授業や学校生活を有意義に送っていることが伺えます。また、昨年度の調査と比較しても、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の評価が増えたのが9項目ありました。特に、「授業は、やるきがでる勉強がたくさんありますか。」は、「あてはまる」の伸びが大きいです。一方、「授業では、ほかごとをせず集中して学習していますか。」「授業では、すすんで手をあげて、発表していますか。」は、子どもが感じている達成度は、低いようです。

<今後の取組>

コロナ禍においては、「密を避ける」が必要で、人と人との関わりを今までと同じように行うことは難しい状況にあります。ただ、西小のよい点の特徴である「温かい人間関係」が保たれ更には伸ばしていくことができるように努めていきます。具体的には、「笑顔があふれる学校にしたい」と、後期児童会が中心となった取り組みが始まりました。この取り組みを通して、西小を「誇り」に思っ卒業や3年後の統合が迎えられるとよいと願っています。この活動が継続するように、見届け励ましていきます。

また今後もより一層の授業改善に努め、子どもが「分かった」「できた」「楽しかった」と思える授業にしていくとともに、子ども自身が主体的に学び合っ関わり合っいけるような授業を目指していきます。

また、記述の中には、「運動会を体育発表会に代えて行ってくださってありがとうございました。子どもの成長した姿や目標にむかってがんばる姿が見られてコロナの事を忘れるくらいでした。」のような、子どもの成長を感じられる機会を、保護者の皆様がとても楽しみにそして大切にしていることが分かりました。コロナ禍で、授業参観の実施は、できませんが、子どもが目標に向っ取り組む姿や仲間とともに活躍できる機会を確保すること、またそれらを伝える方法を検討していきます。

「下校時に雷がなっているとのことで待機し、雷が落ち着いて下校しはじめると雨が強くふり、びしょぬれになって帰宅することが数回ありました。もう少し雨の様子も気にして頂き、小雨になってから下校させてほしいと思います。」子どもの安全への配慮が足りなかったと反省しています。ご心配をかけることになり、申し訳ありませんでした。今後は、子どもの安全を最優先に、雷時の下校については、雷が完全におさまるまで待つことや引き渡しによる下校などを行っていきます。

その他にも、いろいろな観点から、貴重なご意見をいただきました。全てのご意見の掲載は、割愛させていただきますが、ご意見を後期からの学校経営に活かしていきます。今後も、ご理解やご指導をお願いします。